



国公立前期試験激励集会 ～克己求道～

2月22日（木）に、国公立前期試験激励集会を行いました。
校長先生による激励や若手教員による激励のエールなどがあり、これから前期試験を受験しようとする3年生にとって大きな力となりました。
頑張れ3年生！北高のみんなが応援しているぞ！！



校長先生による激励



進路指導部長激励



若手教員によるエール



激励会を終えて、試験に向かう3年生

生徒の活動報告

平成29年度「『ことばの輝き』優秀作品コンクール」

広島県教育委員会が主催する「平成29年度ことばの輝きコンクール」読書感想文部門において、2年生の梅田叶夢君、1年生の西門遼奈さん、西原未希さんの作品が優秀賞（第2位相当）を受賞しました。本校生徒の優秀賞受賞は、今年度で7年連続となりました。

部門	氏名	作品名
体験レポート	2年 梅田叶夢	文化財保護における現状と課題
読書感想文	1年 西門遼奈	「母と私」
読書感想文	1年 西原未希	『君の臍臓をたべたい』を読んで

梅田君は、研修旅行と「産業社会と人間」の授業における活動をレポートにまとめました。テーマは、「文化財保護における現状と課題」についてで、文化庁文化財部伝統課を訪問して研修した成果と、将来への展望について説明しました。今後は、「日本が世界に誇れる文化財を国際的に発信していくために、遺産を修復するだけでなく、外国人に楽しんでもらうための環境を整える工夫も考えていきたい」と、探究をより一層深めていく思いを述べました。

西門さんは、「『かあちゃん』（著者 重松清）を読み、あらためて母親の存在を強く感じた。みんな母親から生まれ、その存在が心の奥にある。どんなに寂しい毎日を送っていても、けっして一人ぼっちではないかもしれない。」と自分と母親の絆に対する考え方について述べていました。

西原さんは、「『君の臍臓をたべたい』（著者 住野よる）というタイトルに興味を持ち、読んでみようと思った。最初の予想とは違い、普通に生きていることのありがたさを感じるようになり、悩んだり苦しんだりする日々にも感謝して生きていきたい。」と、日頃の生活の捉え方の変化について述べていました。

1年生 探究基礎発表会

2月21日（水）に71期生（1年生）の探究基礎発表会が行われました。1年生は、10月から15の系統別のグループに分かれて、グローバル課題の発見に向けて、探究の手法を学び、情報収集、整理・分析、まとめ・発表を行ってきました。今回は、7つの代表グループによる全体発表会でした。

最優秀賞は、生物学・化学・農・水産学系統のグループでした。テーマは「低コスト魚粉を使わない餌」についてで、ハエの幼虫やさなぎの利用可能性について、分かりやすく、斬新に説明をしました。会を終えた生徒は、「最初はハエという案に「え？」と思ったが、発表を聞き、ハエが良いと思うようになった」、また「同じテーマだけど、自分達とは異なる解決策を知ることができた」と、これまでの考え方が変わり、大いに刺激を受けたようでした。



最優秀賞：「低コスト魚粉を使わない餌」



積極的に質問をする生徒



優秀賞 2グループ
「フェアトレード」
（写真左）



「災害の情報発信」
（写真右）

留学事前研修 (Road to Study Abroad)

本校では例年3月にオーストラリア短期留学を実施しています。

本校の姉妹校であるオーストラリアのウエスト・モートン・アングリカン・カレッジへ通学するなど、現地で二週間の語学研修です。研修の準備として、前年度参加した2年生から、留学の相談、英語によるコミュニケーションの取り方や、国際交流にあたっての心構え等を学びました。

第1回では、「留学に係るQ&A」と題して、初めての留学に不安を抱える1年生の質問に、2年生が自らの体験を基に、アドバイスをしました。持っていくべき荷物のことから、ホストファミリーとの最初の挨拶の仕方といった細かいことまで疑問を解消できるよい機会となりました。

第2回では、「英語で会話をし続ける」と題して、連続する英語の質問に対して、英語で答え続けるやりとりを練習しました。2年生が1年生にお手本を見せることで、1年生にとって留学に向けて意欲の高まる機会となりました。



英語で話し続ける練習をしている生徒達

尾北イノベーション



姉妹校のウエスト・モートン・アングリカン・カレッジ
（写真は今年の研修の様子）



1年生の相談にのる2年生